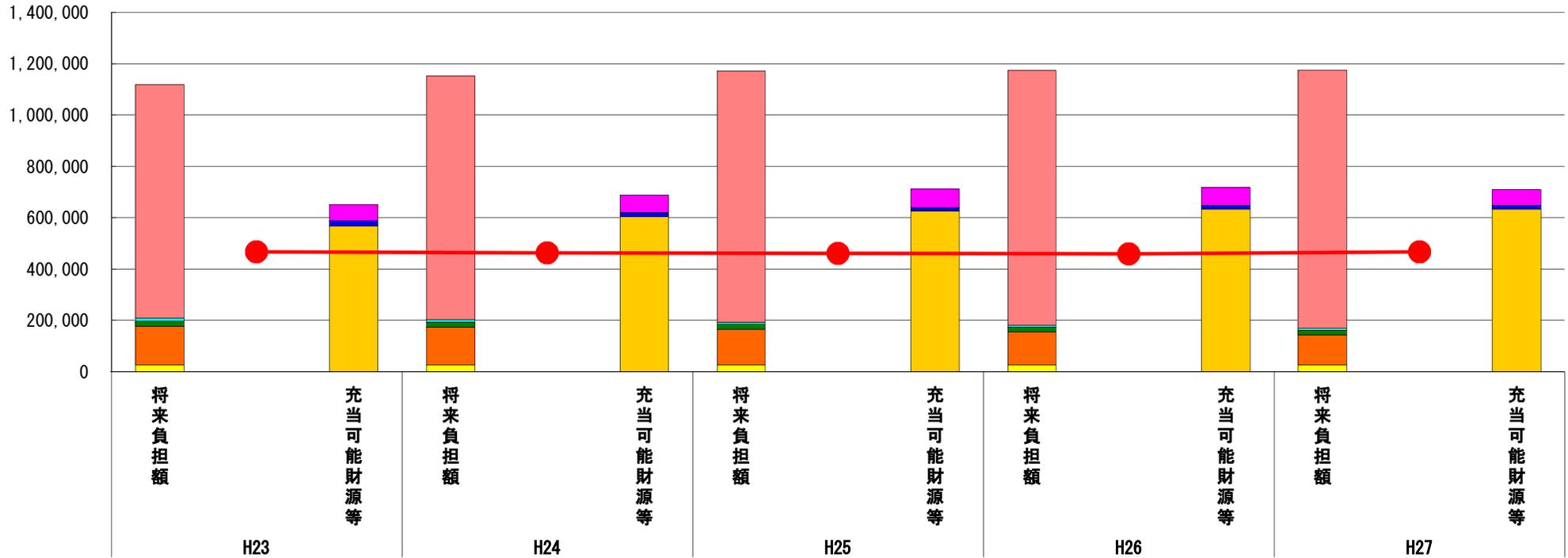


(10) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

平成27年度

和歌山県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		910,361	949,365	977,993	993,079	1,006,493
	債務負担行為に基づく支出予定額		10,884	9,822	8,830	7,896	8,139
	公営企業債等繰入見込額		19,906	19,333	18,693	18,155	17,578
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		151,333	146,278	139,466	129,154	118,043
	設立法人等の負債額等負担見込額		25,818	26,382	26,007	25,504	25,582
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		64,311	68,427	70,901	69,102	62,770
	充当可能特定歳入		18,543	15,686	14,269	14,192	14,027
	基準財政需要額算入見込額		568,575	603,719	624,617	632,838	632,652
(A) - (B)	将来負担比率の分子		466,873	463,348	461,201	457,655	466,385

分析欄

退職手当の支給水準の引き下げに伴い、退職手当負担見込額が111億円減少したものの、一般会計等に係る地方債の現在高が臨時財政対策債等の発行増に伴い134億円増加し、また、国体基金の廃止等により充当可能基金が63億円減少したことで、将来負担比率の分子については、前年度に比べ87億円の増となった。今後は、予算の収支不足を補うための退職手当債や行政改革推進債等の発行により、将来負担は増加していくおそれもあるため、事業の効率化・重点化により県債発行を抑制するなど行財政改革の推進により健全化を図っていく。